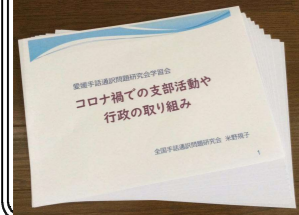


## 愛媛支部

### 定期総会記念講演

今年度も定期総会は書面表決となりましたが、記念講演は予定通り4月25日に開催しました。オンラインでの講演で、画面を通して学習や交流を行いました。

講師は全通研理事の米野規子さんです。明石市の手話言語条例制定の経緯や、コロナ禍が手話通訳に与える影響、見えてきた課題への取り組み方など、わかりやすく整理されたお話でした。また、資料をもとに手話通訳者の実態や制度の問題点なども丁寧に解説されました。明石市にはろうの議員や市職員がいて議会や公的サービスにおける情報保障が進んでいることや、職員や市民が手話に関心を持つような環境を整えていることに、感銘を受けました。



講演後には、条例制定後の変化、時間外の派遣態勢などについての質疑応答や、愛媛県内の状況についての情報提供もありました。手話言語条例の制定に向けて、県で議論を始めるための準備を進めているという参加者からの報告には、心強い思いがしました。今回学んだことが、きっと活動の力になると思います。

### コロナ禍で迎えた2年目の総会

## 香川支部

4月18日(日)香川県聴覚障害者福祉センターにて定期総会が開催されました。

昨年は、苦渋の決断の上、中止で書面決議としました。今年も、ギリギリまで迷いましたが、協議の結果、開催することに決めました。とは言え、例年通りとはいきません。来賓の方にはご遠慮いただき、感染予防対策を徹底しながらの開催となりました。会員総数93名のうち総会出席者14名、委任状提出者44名、あわせて58名で総会は開催できました。各部局からの報告は「コロナ禍で中止」が目立ちましたが、今年は開催方法や内容を模索しながら取り組むことに役員揃って頑張ります。どの支部も同じ苦しみを経験しています。香川だけではない！今できることは何かを考え、前に向かって進みます。



挨拶をする  
曽我部会長

# あさいと 結社

### 2021年度総会と学習会

第39回総会は感染症予防対策をとり無事に対面で開催。昨年度は集まることができなただけに、うれしい時間となりました。議題は全会一致で承認され、昨年同様の役員体制でスタートしました。

総会後の学習会は恒例の聴覚障害者協会理事を招いて、ご自身の今までの、そしてこれからの「道」。今年度は竹島春美会長。四国の手話「あさいと」発行までの経緯と「私たちの手話」について。標準手話確定普及研究部四国班が創る新しい手話の作り方を具体的にわかりやすくお話し頂きました。そして実際に自分たちで「ひろめ市場」などの高知の手話を考えました。会場は大盛り上がり。どのグループも意味や特徴を捉えて表していました。手話を作るポイントが分かった・生の手話を見て話し合い学び合うって楽しい等々の感想があり、これからも「学ぶ楽しさ」を忘れずに活動したいと思いました。



## 高知支部

### 令和3年度徳通研事業開始！

令和3年度の定期総会を4月18日に開催しました。昨年から続くコロナウイルス感染拡大により、飲食店への時短要請をするなど大変な時でしたが、出席者14人(委任24人)により無事に開会することができました。



昨年は、全国・四国での大きな行事が中止となりましたが、ZOOMを活用してのオンライン講座が開かれるなど、工夫や検討をしながらなんとか活動ができました。それでも少ない人数でも対面学習を行い、手話通訳士や統一試験合格をめざす人たちへの学習支援も回を重ねて行うことができました。手話Caféはコロナにも負けずに毎月開催。恐る恐るでしたが、おいしいお菓子とお茶の提供も行い、2時間半の交流を提供することもできました。会員数も目標にあと少しでしたが、継続会員のお陰で以前と変わらぬ会員を維持することができました。今年度は、早くも手話通訳者・士養成や手話Caféを始動。今後は毎月の活動をしっかり感染対策をして、いつまでもコロナの責任にせず、「withコロナ」と前向きに

捉えて活動していきましょう！

## 徳島支部